



WHOLESALE DISTRIBUTION

中堅・中小 流通・卸業の今すぐ解決したい5つの課題

目次

-
- 4 お悩み1 現場から離れた管理部門では、入荷から出荷までの動きをリアルタイムに把握できない
-
- 5 お悩み2 在庫状況がわかりにくく、過剰在庫や機会損失がなくなる
-
- 6 お悩み3 商品ごとの出荷後のトレースやアフターサービスが大変
-
- 7 お悩み4 棚卸しや決算日まで利益が見えない
-
- 8 お悩み5 販売ルートが多様になり、処理が増えて煩雑になった
-
- 9 SAP Business ByDesign 導入の4つのメリット



WHOLESALE DISTRIBUTION



モノをとにかく素早く正確に流していく。流通・卸業の使命はこのようにシンプルですが、それを100%実現させるには、解決しなくてはならないたくさんの課題があります。この業界で特にキーとなってくるのが、正確な受発注による**適正な在庫管理**です。

「在庫管理」という言葉だけ見ると簡単に解決できそうですが、流通・卸業の場合には保有するアイテム数が数万点に及ぶことは珍しくなく、さらに多くの場合には事業拡大に伴って増えていくものです。それらのアイテムは常に「流れている」状態にあるわけで、ある商品の現在位置を正確に把握することや適切な在庫情報を顧客に提供することが、かなり難易度の高い課題であることは想像に難くありません。

これらの課題のハードルは高いものの、消費者の求めるものはさらに高い品質です。具体的には、eコマース台頭の影響もあり、100%正確なトレーサビリティや、流通のさらなる高速化が求められています。このように厳しさを増す事業環境で、流通・卸業はどのように課題を解決していけるのでしょうか？今回は課題解決が事業価値の向上に直結する**業務システムのソリューション**をご紹介します！



WHOLESALE DISTRIBUTION



お悩み1 現場から離れた管理部門では、入荷から出荷までの動きをリアルタイムに把握できない

流通・卸業のコア業務でキーとなるのが、商品をいかにスムーズに流通させるか、という点です。このためにはモノの動きをできるだけリアルタイムに正確に把握する必要がありますが、購買・販売・在庫管理を別々のシステムで管理している場合は、達成が難しくなります。実態と情報との間にタイムラグが発生してしまうからです。個々のタイムラグはわずかかもしれませんが、入庫した在庫が移動し次の目的地まで出荷されている間に、ずれは積み重なり、最終的にモノの現在位置が正確につかめなくなってしまうのです。

SAP Business ByDesignならこう解決できます

データを一元管理することで、部門をまたいでリアルタイムに在庫管理ができます

SAP Business ByDesignの強みは、まさにデータを一元管理することにあります。商品のデータは購買・販売・在庫管理といった部門の機能によって個別に存在することなく、部門横断的に同じデータが活用されるのです。こうしたシームレスなデータの流れは、モノをよりスピーディに流すことにつながります。リアルタイムに現状把握ができるということは、個々のプロセスで確認のために立ち止まる無駄を省いているからです。

さらに、こうしたデータの一元管理は、より適正な在庫管理にもつながるでしょう。すなわち、返品や廃棄といった企業にとっての損失を防ぐことにも貢献するのです。



WHOLESALE DISTRIBUTION



お悩み2

在庫状況がわかりにくく、過剰在庫や機会損失がなくなるらない

縦割りの組織による弊害は、多くの業界で頭の痛い問題となっていますが、流通・卸業の場合には特に過剰在庫という形で表れてきます。例えば、購買部門は販売見込みに基づいて発注数を決定しますが、このときの販売データが最新のものでなかったとすれば、過剰在庫、あるいは販売機会の損失につながってしまうのです。こうした適正でない結果が生まれると原因と責任を巡って購買と販売部門が対立してしまうこともありますが、そもそも購買・販売・在庫は1つのサイクルなので、個別にデータの処理を行っているのは非効率だといえます。

SAP Business ByDesignならこう解決できます

情報を共有してデータを一元管理することで適正な在庫管理が可能になります

情報をよりよい形で共有することはビジネス成功のキーです。全ビジネスプロセスを統合し、各部門が同一の基盤で情報処理を行っていくことは、非常にシンプルですが、さまざまなメリットがあります。

そのひとつが情報処理の工数を削減できること。在庫や販売・購買はそもそも1つしかないものなので、部門が違っても一元化されたデータでの作業を行ったほうが正確で無駄も少ないでしょう。連携処理が自動で行われることで人手を介することによって起きていたミスも防ぐことができ、結果的に在庫はより適正な形に収れんしていくのです。



WHOLESALE DISTRIBUTION



お悩み3

商品ごとの出荷後のトレースやアフターサービスが大変

流通・卸業の業務は単純に素早くモノを流していくことだけではありません。直近だけではなく、時には半年、数年先までの需要を考えた商品の需給管理が必要となる場面もあるのです。これらは通常とは異なるスパンでの処理が必要となり、業務が複雑化します。また、近年ますます消費者から重視されるようになっている商品のトレーサビリティについても、出荷後の体制を単純な入庫～販売とは違うスパンで対応する業務となるので、煩雑です。

SAP Business ByDesignならこう解決できます

情報を一元管理し必要な機能を追加することで、商品ごとの情報管理がしやすくなります

流通・卸業といっても、時には商品を入荷・出荷する前や後の工程にも業務が生じる可能性があるということです。ここでもキーとなるのが商品ごとのデータの一元管理と業務プロセス間での連携です。

従来の多くのケースでは、長期スパンでの販売動向予測といったマーケティング部門が担うことの多い分野は購買部門からは独立していました。また、販売データが効率的に共有されていなかったためにアフターセールスが無駄の多いオペレーションになっていたのです。こうした点も、一元化された情報を基盤にして必要な機能を追加していくことによって効率的に解決可能です。SAP Business ByDesignは多岐にわたる業務領域をカバーしており、自社に合った形で標準機能を追加していくだけで容易に最適な業務システムを構築できます。



WHOLESALE DISTRIBUTION



お悩み4

棚卸しや決算日まで利益が見えない

何万点ものアイテムを保有する流通・卸業では、利益を正確に把握することも簡単ではありません。効果的なツールがない場合、棚卸しをするまで正確な入荷・出荷数がわからないということもあり、これでは決算日ようやく経営の実態を把握するということになってしまいます。当期の利益改善のために打つべき施策も棚卸しを待っていては遅すぎ、常に後手に回るということになるのです。

SAP Business ByDesignならこう解決できます

情報を一元管理することで、売り上げや利益をリアルタイムに可視化できます

ここでも役立つのが、情報をシームレスに一元管理することです。モノがどのように動いているかリアルタイムで把握するということは、それらを蓄積した在庫の最新データも同時に取得可能ということです。売り上げや利益をリアルタイムで把握すれば、打つべき施策も見えてきます。

SAP Business ByDesignであれば、どの商品カテゴリがよく売れているのか、逆に利益率が落ちているものがあるのかといったデータを担当者が手作業で報告する手間も不要です。データの正しい活用とは、単なる蓄積や共有だけにとどまらず直感的に理解できる形に加工することも含まれます。見たい情報がわかりやすい形で分析・出力されることは、スピーディな経営判断を行う強力な支援となるでしょう。



WHOLESALE DISTRIBUTION



お悩み5

販売ルートが多様になり、処理が増えて煩雑になった

近年の流通・卸業における特筆すべき変化は、eコマースが普及してきたことでしょう。オムニチャネルの考え方では、インターネット上や実店舗を含めたあらゆるチャネルで顧客接点を増やしていくことが、消費者のよりよい購買体験につながるとされています。ただし、これを実現する企業側にとっては、販売・出荷ルートが多様になることで処理が増えて煩雑になるといった悩みを抱えることになります。

SAP Business ByDesignならこう解決できます

オムニチャネルにも強いシステム基盤によって売上拡大できます

オムニチャネルにおいて重要な一手は、実店舗とECサイトの境をなくすことにあります。こうすることで顧客のニーズを取りこぼさず売り上げアップを狙え、さらにECサイトと実店舗といった複数の販売ルートを一本化することができるからです。

このために必要なのが商品・在庫情報の一元管理です。情報を一元化すると複数のチャネルに対しての割り当てでトラブルが発生するのではないか、という懸念もあるかもしれませんが、その点もSAP Business ByDesignではしっかり考慮されています。1つの商品データに対して論理的に在庫セグメンテーションを分けることができるのです。需給計画から購買・在庫管理までが一気通貫に統合されたシステム基盤を持てば、より多くの顧客接点を確保することができ、売り上げ拡大に貢献することでしょう。



WHOLESALE DISTRIBUTION



SAP Business ByDesign 導入の4つのメリット

1 入荷から出荷までの情報をリアルタイムに把握できる

SAP Business ByDesignは流通・卸業におけるビジネスプロセスを効率的に統合します。これによる大きなメリットは、入荷から出荷までのサイクルが、プロセスごとに細分化されることなく一気通貫で把握できることです。また、統合されたプロセスによってタイムラグやミスをなくせるので、リアルタイムで在庫情報を正確に把握することができます。

2 ビジネスプロセスが統合され、処理が効率化できる

ビジネスプロセスが統合される、ということは部門間で重複した作業を行うこともなくなるということです。購買部門は必要な販売見込みについて、販売部門が使っているデータをそのまま使うことができ、在庫状況についても社内のどの部門であっても同じデータを参照することができるため、誤解やミスがなくなります。

3 自社に合わせてカスタマイズしたシステムを簡単に組むことができる

ビジネスプロセスの統合というと、常に巨額の費用を投じたシステム導入を連想されるかもしれませんが、しかし、SAP Business ByDesignの場合、自社へのカスタマイズや導入そのものは簡単です。また、SAP Business ByDesignは広範な業務領域をカバーしており、なおかつそれぞれでベストプラクティスを提供しているので、複雑な機能をすべて理解せずとも、直感的に自社に必要な機能の組み合わせを行うことができるでしょう。

4 安定したシステムを短期で導入でき、メンテナンスも容易になる

SAP Business ByDesignの導入は、豊富に用意された機能を自社に合わせて組み合わせるだけでも、3か月といった短期間の達成も可能になります。また、クラウドベースのため、導入が簡単な簡単なだけでなく、導入後のメンテナンスの負担も大幅に軽減されます。自社で専用サーバを構築するわけではないので、法令改正や規格変更のような修正があっても自社のリソースを割くことなく、常に最新の環境にメンテナンスされたシステムを利用することが可能なのです。



WHOLESALE DISTRIBUTION



お問い合わせ先

<https://www.sapjp.com/gb/form/contact/?ref=ERP-LP>

0120-786-727 (受付時間: 平日 9:00~18:00)

中堅・中小企業向けの特設サイト:

<https://www.sapjp.com/gb/erp/>

中堅・中小企業の希望を実現する Blog:

<https://www.sapjp.com/gb/blog/>

50000065 (18/00/SE)

© 2018 SAP SE or an SAP affiliate company. All rights reserved.

本書のいかなる部分も、SAP SE または SAP の関連会社からの明示的な許可なくして、いかなる形式でも、いかなる目的にも複製または伝送することはできません。

本書に記載された情報は、予告なしに変更されることがあります。SAP SE およびその頒布業者によって販売される一部のソフトウェア製品には、他のソフトウェアベンダーの専有ソフトウェアコンポーネントが含まれています。製品仕様は、国ごとに変わる場合があります。

これらの文書は、いかなる種類の表明または保証もなして、情報提供のみを目的として、SAP SE またはその関連会社によって提供され、SAP またはその関連会社は、これら文書に関する誤記脱字等の過失に対する責任を負うものではありません。SAP またはその関連会社の製品およびサービスに対する唯一の保証は、当該製品およびサービスに伴う明示的保証がある場合に、これに規定されたものに限られます。本書のいかなる記述も、追加の保証となるものではありません。

特に、SAP SE またはその関連会社は、本書もしくは関連の提示物に記載される業務を遂行する、またはそこに記述される機能を開発もしくはリリースする義務を負いません。本書、もしくは関連の提示物、および SAP SE もしくはその関連会社の戦略ならびに将来の開発物、製品、および / またはプラットフォームの方向性ならびに機能はすべて、変更となる可能性があり、SAP SE もしくはその関連会社により随時、予告なしに変更される場合があります。本書に記載する情報は、何らかの具体物、コード、もしくは機能を提供するという確約、約束、または法的義務には当たりません。将来の見直しに関する記述はすべて、さまざまなリスクや不確定要素を伴うものであり、実際の結果は、予測とは大きく異なるものとなる可能性があります。読者は、これらの将来の見直しに関する記述に過剰に依存しないよう注意が求められ、購入の決定を行う際にはこれらに依拠するべきではありません。

本書に記載される SAP およびその他の SAP の製品やサービス、ならびにそれらの個々のロゴは、ドイツおよびその他の国における SAP SE (または SAP の関連会社) の商標もしくは登録商標です。本書に記載されたその他すべての製品およびサービス名は、それぞれの企業の商標です。商標に関する詳細の情報や通知に関しては、<https://www.sap.com/corporate/en/legal/copyright.html> をご覧ください。

